

令和6年度

31 大分県高等学校新人空手道競技大会 実施要項

- 1 主 催 大分県高等学校体育連盟 大分県教育委員会
- 2 期 日 令和6年 11月16日(土) 9:00 審判監督会議、9:30 開会式、10:00 競技開始（形競技）
11月17日(日) 9:00 審判監督会議、9:30 開始式、10:00 競技開始（組手競技）
- 3 場 所 牡塚市文化体育館（牡塚市本庄2005） [審判監督会議：ミーティングルーム]
- 4 競 技 規 則 (1) (公財)全日本空手道連盟制定の空手競技規定(2023年度版)に準ずる。
(2) 競技の運用については、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。
- 5 競 技 種 目 (1) 団体種目 a) 男子団体形 b) 女子団体形 c) 男子団体組手 d) 女子団体組手
※団体種目は各校チーム対抗戦とする。
※団体組手は5人制と3人制にて実施し、各校どちらか一方のみに出場できる。
(2) 個人種目 a) 男子個人形 b) 女子個人形 c) 男子個人組手 d) 女子個人組手
※個人組手競技は下記の体重別階級制で実施する。(R2年度)
【男子】 - 55kg級、- 61kg級、- 68kg級、- 76kg級、+ 76kg級
【女子】 - 48kg級、- 53kg級、- 59kg級、- 68kg級、+ 68kg級
- 6 競 技 方 法 (1) 組手競技は、団体・個人ともにトーナメント方式とするが、団体組手は追記あり。
(2) 形競技について、個人形は第1～第3ラウンドを行い、第3ラウンドにおいて決勝と3位決定戦の選手を決定する。また、団体形は予選と決勝を行う。
- 7 参 加 資 格 (1) 「令和6年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
(2) 令和6年度の全日本空手道連盟および大分県空手道連盟の登録会員であること。
- 8 参 加 制 限 (1) 団体組手のチーム構成は、5人制は男女それぞれ監督1名、正選手5名、補欠3名の計9名とする。3人制は男女それぞれ監督1名、正選手3名、補欠1名の計5名とする。
(2) 団体形のチーム構成は、男女それぞれ監督1名、正選手3名、補欠3名の計7名とする
(3) 個人種目は、形・組手それぞれ監督1名で選手は男女とも種目ごとに1校20名以内とする。
- 9 参 加 申 込 (1) 申込期限 **令和6年10月24日(木) 18:00 メール必着**
(2) 申込方法 大分県高体連webサイトより参加申込書をダウンロードして必要事項を入力する。
男女各1部印刷して校長決裁を受け、校長職印を押印したものをPDF処理する。
なお、承認を得た申込電子データ(PDFとEXCEL)を下記宛メールにて送信する。
(3) 宛先 メール送信先：mizue-tomokazu@oen.ed.jp (専門委員長 水江アドレス)
ファイル名は R06県新人申込-学校名 (例: R06県新人申込-日田) とすること。
- 10 参加負担金 選手1人あたり加盟校600円・非加盟校1,000円とする。(補欠含む) 大会当日受付で納入する。
- 11 出 場 権 の 獲 得 下記該当校および個人に九州新人大会(兼 全国高校選抜大会予選会)の出場権を与える。
(1) 団体形・団体組手(5人制)はそれぞれ上位4校、団体組手(3人制)は上位2校
(2) 個人形種目は上位4名
(3) 個人組手種目は、各階級の1位の者と、出場者数の多い3階級において2位の者に出場権を与える。
※各階級の出場者数により出場権決定の方法を変更する場合がある。(申し合わせ事項に記載)
- 12 組合せ抽選 (1) **令和6年10月30日(水) 14:00～** 大分商業高等学校 (大分県高体連事務局)
(2) 組み合わせ抽選は、専門委員により抽選基準に基づいて行う。
- 13 連 絡 事 項 競技方法の細目は、本大会の申し合わせ事項(別紙)により定める。

0. 競技規則

- (1) (公財)全日本空手道連盟制定の空手競技規定（2023年度版）に準ずる。
- (2) 競技の運用については、(公財)全国高等学校体育連盟空手道専門部の申し合わせ事項を適用する。

1. 団体形競技

予選にて得点方式により4チームを選出する。出場が4チームに満たない場合も、予選を行う。

予選の1位と2位で決勝を行う。予選、決勝において同点の場合は旗判定とする。

なお、決勝での分解演武は実施する。予選は指定形、決勝は予選で演じた形を含めた得意形とする。

演武前の礼、演武後の礼をしない場合は反則となる。

2. 個人形競技

(1) 予選（第1～第3ラウンド）

審判7名による得点方式で実施し、2名同時演武とする。欠場者が出た場合は詰めて実施する。

第1ラウンドにて各パートから4名を選出する。第2ラウンドにてAB(8名)、CD(8名)から各4名を選出する。

第3ラウンドにてABとCDの2パート各4名から3名を選出し、上位1名が決勝、2位と3位が3位決定戦へ進出する。第2ラウンド、第3ラウンドの演武順は抽選により決定する。

第1ラウンドは指定形、第2ラウンドは得意形①、第3ラウンドは得意形②とする。

出場人数により、第3ラウンドを実施しない場合がある。

(2) 3位決定戦

第3ラウンドのABパート2位とCDパート3位、CDパート2位とABパート3位の選手により実施する。

演武順についてはABパートからの選出者を赤とする。演武する形は得意形③とする。

(3) 決勝

第3ラウンドの各パート1位2名により実施する。演武順についてはABパート選出者を赤とする。

演武する形は得意形③とする。

※1 各回戦で同点により次の回戦に進出する人数が、規定の人数を超える場合は得点比較により決定する。

※2 メダルマッチ(3位決定戦と決勝)までに4つの形が必要である。

※3 指定形および得意形は空手競技規定の付録4および付録5から選択しなければならない。

3. 組手競技の安全具

以下の高体連指定の安全具を着用すること。

【女子】 正拳サポーター（全空連検定・赤青）、ボディープロテクター（高体連指定または全空連検定）、ニューメンホー（タイプVIまたはVII）、シンガード・インステップガード（高体連検定）の4点

【男子】 女子の4点にセイフティーカップを加えた5点

※メンホーへの「マウスシールド」装着は個人の任意とする。

4. 団体組手競技

(1) トーナメント方式とする。参加校が3校以下の場合にはリーグ戦とする。

(2) 2回戦までは全員が競技を行い、3回戦以降は勝敗が決した時点で競技終了とする。

勝敗が決する場合は、勝敗数はもちろん、得失点差が11ポイントを超えた場合も含まれる。

(3) チームのメンバーが規定人数に満たない場合は、選手を先鋒から大将までの何処に配置してもよい。

5. 個人組手競技

(1) 男女それぞれ下記の階級制とし、階級ごとのトーナメント方式とする。

ただし、一階級3名のみ出場の場合は、リーグ戦にて順位を決定する。

(2) 出場者は全員、指定された時間内に計量を受け、出場資格の確認を受けなければならない。

(3) 階級表 着衣分0.5kgと計測器測定幅±0.5kgを考慮し、下記の通りとする。

【男子】	A	—55kg級	56.0kg未満
	B	—61kg級	55.0kg以上 62.0kg未満
	C	—68kg級	61.0kg以上 69.0kg未満
	D	—76kg級	68.0kg以上 77.0kg未満
	E	+76kg級	76.0kg以上

【女子】	A	—48kg級	49.0kg未満
	B	—53kg級	48.0kg以上 54.0kg未満
	C	—59kg級	53.0kg以上 60.0kg未満
	D	—68kg級	59.0kg以上 69.0kg未満
	E	+68kg級	68.0kg以上

(4) 計量についての注意事項

計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ（半袖）、下衣はスパッツ（ハーフサイズ）とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。指定した時間内に計量を受けない場合、参加申込書にて届け出た階級の体重区分に適していない場合（超過または不足）は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。なお、他種目への出場は可能である。

※選手の健康面に配慮し、無理な減量や増量を行わないこと。

6. 九州新人大会（兼 全国選抜大会予選会）の出場権について

【個人組手】

- 1) 男子は各階級の1位の者に加えて、出場選手数が多い3階級における2位の者に出場権を与える。
- 2) 各階級で2名以下の出場者数になった場合や全国高体連推薦などによる場合は、原則として他階級へ振り分ける。詳細については、組み合わせ抽選時に専門委員会で審議して出場権を与える方法を決定し、各出場校へ周知する。

【団体組手】

- 1) 5人制に4チーム以上の出場がなく、かつ、3人制に3チーム以上の出場があった場合、3人制にて出場権を獲得できなかったチームが3名以上あるとき、チームが希望すれば3人制の結果上位から5人制での出場権を与える。
- 2) 3人制に2チーム以上の出場がなく、かつ、5人制に5チーム以上の出場があった場合、5人制にて出場権を獲得できなかったチームが希望すれば、5人制の結果上位から3人制での出場権を与える。
- 3) 上記の場合、専門委員会の合議により決定する。

7. 確認事項

(1) ゼッケンについて

全国高体連空手道専門部指定のゼッケンを空手道衣の背中に縫い付けて着用すること。

購入については別途連絡により案内する。

(2) 九州新人大会への審判員派遣について

九州新人大会は九州高体連空手道専門部の申し合わせ事項により、各県より4名以上の審判員を派遣することになっています。つきましては、参加校より派遣費が負担できる審判員1名を派遣いただくことを原則とし、学校の事情により審判員が派遣できない場合は、審判員派遣費を参加エントリー数に応じて負担いただることとしております。派遣審判員および派遣費が確定しましたら、改めて文書にてお知らせいたします。趣旨をご理解いただき、派遣費の納入をお願いいたします。